

22.07.15

Zホールディングス株式会社



Zホールディングス グリーンボンドの充当状況に関するお知らせ

Zホールディングス（以下、ZHD）は、2021年7月に発行した2028年満期無担保普通社債（グリーンボンド）により調達した資金の充当状況および環境改善効果について、以下の通りお知らせいたします。

1. 資金充当状況レポート（2022年3月31日基準）

調達資金の適格プロジェクトへの充当状況は以下の通りです。

適格プロジェクト

- ① PUE（Power Usage Effectiveness）1.5未満を満たすデータセンターへの建設、改修、取得、運営（プロジェクトカテゴリー：省エネルギー）
 - i. 白河データセンター：設備投資（リファイナンス）
 - ii. Actapioデータセンター：設備投資（リファイナンス）
 - iii. 北九州データセンター：設備投資（新棟建設）
- ② データセンター運営に必要な電力の再生可能エネルギーからの調達（プロジェクトカテゴリー：再生可能エネルギー）

（単位：億円）

項目	金額
調達金額	200
資金充当額	160
未充当残高※1,2	40

※1：未充当残高については、同額を現金及び現金同等物にて管理

※2：残りの調達資金については、2022年度末までに充当を完了する予定

2. インパクト・レポート

環境改善効果に関連する各種指標の状況は以下の通りです。

- ① データセンターのPUE値
- ② 再生可能エネルギーの調達電力量（kWh）

項目	2021年度
PUE値	1.36
調達電力量	134,432,291kWh

3. 第三者評価機関におけるアニュアルレビュー

Sustainalyticsによるアニュアルレビューの結果、適格プロジェクトが当社のグリーンボンドフレームワークで定められた調達資金の用途及びレポーティングの基準に適合していることが確認されました。レビュー結果の詳細につきましては、以下リンクをご参照ください。

https://www.z-holdings.co.jp/news/2022/07/Sustainalytics-Annualreview_JPN.pdf

ZHDは、カーボンニュートラルに向けた取り組みを加速することを目的に、環境問題の解決に貢献する事業に対する資金調達手段として、本グリーンボンドを発行いたしました。ZHDは「UPDATE THE WORLD - 情報技術のチカラで、すべての人に無限の可能性を。」のミッションのもと、引き続き幅広いステークホルダーとより一層連携し、サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。